

しきじ 識字をチカラに

こうし おかだ こうじ
講師：岡田 耕治

みさきちやうりつちやうがっこう ○岬町立中学校

やく ねんまえ わたし かよ みさきちやうりつみさきちやうがっこう つき かいとしよしつ くかい
約55年前に私が通っていた岬町立岬中学校では、月2回図書室で句会
おこな が行われていました。そこには、ちやうがくせい ちやうがっこう そつぎやう こうこうせい きやういん
地域の保護者などが集まり、地域のコミュニティになっていました。現在の
ちいき ほごしや あつ ちいき げんざい
教育の中で、学校をコミュニケーションの拠点として、いろいろな人が学校に
きやういく なか がっこう きよてん ひと がっこう
集まるという学校づくりをしようと、たくさんの方を地域の人たちに手伝っ
あつ がっこう ちいき ひと てつだ
てもらおうという風な取り組みが行われていますが、まさに約55年前の
みさきちやうがっこう とりく おこな おも
岬中学校がその取り組みを行っていたと思います。

わたし みさきちやうがっこう がっこううんえいきやうぎいん ちやうがくせい つく
私は、岬中学校で学校運営協議委員をやっていまして、中学生が作った
はいく わたし えら はいく ちやうがくせい とど かつどう
俳句を私が選んで、この俳句よかったよと中学生に届ける活動をしています。
いけだし がくえん がっこううんえいきやうぎいん ちいき
また、池田市のほそごう学園でも学校運営協議委員をやっています。その地域で
はいく ひと おお ひと がっこう きやうりよく
俳句をやっている人はけっこう多く、その人たちに学校に協力してもらうと
ふんいき はいく とお と
すごくいい雰囲気になります。俳句を通してコミュニケーションを取ることは、
だいじ おも
大事だと思っています。

てんのうじ ○しきじ・にほんご天王寺

しきじ・にほんご天王寺の教室では、こちらから一方的に学習者に教えるの
てんのうじ きやうしつ いっぱうてき がくしゅうしや おし
ではなく、がくしゅうしや べんきやう こま
学習者がどんな勉強をしたいのか、どんなことに困っているのかを
き だいじ がくしゅうしや おし がわ やくめ
聞くことを大事にしています。学習者をサポートすることが教える側の役目です。

こうえんちやう しょうかい はいく ○講演中に紹介のあった俳句

- はな たね はは まくらもと おかだ こうじ
・花の種 めまいの母の 枕許（岡田 耕治）
- ちち じしよ ひら にお かんげっこう おかだ こうじ
・父の辞書 開けば句う 寒月光（岡田 耕治）
- いひん あべいちぞく すずき むりお
・遺品あり 岩波文庫 「阿部一族」（鈴木 六林男）
- もくてき ばくだん こぞことし すずき むりお
・目的の ある爆弾の 去年今年（鈴木 六林男）
- ひろしま たまごく とき くち さいとう さんき
・広島や 卵食ふ時 口ひらく（西東 三鬼）
- かりがね うつく いしだ はきやう
・雁や のこるものみな 美しき（石田 波郷）

- ・ ひらがなの ような風なり 青田波 (木本 久枝)
- ・ 吊り橋を 後ずさりする 秋の川 (中田 淳子)
- ・ 電動で 登る坂道 秋暑し (秋吉 正子)
- ・ 聞き慣れぬ 言葉を放つ 芋煮かな (川村 定子)
- ・ 黄金虫 生きているよう 横たわり (北岡 昌子)
- ・ 思い出す 故郷なしの 甘さかな (梁 榮子)
- ・ なし食べて のどがすっきり してきたよ (金 淳正)
- ・ さんまの目 船の中から よく見える (葉 至淳)
- ・ 孫と梨 あっという間の 時が去る (金 康子)